

2017年度 事業 及び 活動 報告

法人の名称 特定非営利活動法人たすけあい多摩

1. 事業活動の成果

2017 年度、介護をとりまく環境が冷たく厳しさを増す中、「たすけあい多摩」の助け合いの精神にささえられた会員一人一人の心をこめた活動が、利用者にせめてもの暖かい風を届けることができたのではないかと、NPO法人として誇りに思います。

4 名の新会員を迎え、全会員が大きな事故もなく活動を続けられたことは、素晴らしい実績を残すことができたと言えます。

しかしながら、事業運営の視点から見ると、赤字決算という大きな問題をつきつけられました。

2016 年下半期から、収益が落ち込み、赤字が続きます。事業別に見ると、訪問事業は、2016 年度は 345 万円の減(11%減)、2017 年度は更に 66 万円の減(2%減)となります。稼働時間をつき合わせてみると、2016 年度は 5%減、2017 年度はほぼ同じで、収益と比例して減っている訳ではありません。そこで、1 時間あたりの収入を算出してみると、2015 年度は 3,500 円/h、2016 年度は 3,281 円/h、2017 年度は 3,223 円/h となり、2016 年度から収益率が大きく下がっていることがわかります。原因は、2016 年より実施された総合支援事業の影響と推測されます。要介護 1,2 や要支援の利用者が多い「たすけあい多摩」にとって致命的な痛手です。

自主事業「まどか」では、事業収入・稼働時間数ともに 2016 年度の 67%にとどまり、その結果、毎月約 1 万円の赤字が続きました。原因は、これまでの利用者が高齢になり外出が減ったり、ヘルパー不足で請け負えない状況が続いたためと推測されます。

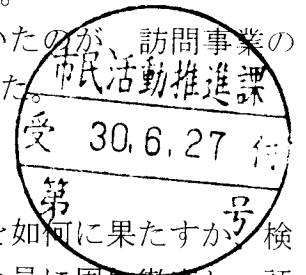
通所事業「デイサービスたまちゃん」は赤字決算の月は、車にかかる費用、水道光熱費、ヘルパー保険などの支払いのため、削りようのない支出です。しかし、利用者 1 人あたりの収益では増収傾向が見られ、軌道にのってきているように思われます。

総合してみると、自主事業や通所事業の赤字を訪問事業で補填していたのが、訪問事業の減収で補填しきれず、全体の赤字決算にいたった、というのが実態でした。

こうした模索が続く中、2 つの大きな決断をしました。

1 つは、介護職員処遇改善加算に関わる決定で、加算(I)が伴う義務を如何に果たすか、検討を重ねました。その中で、「たすけあい多摩」のキャリアパス制度を会員に周知徹底し、評価委員会で判定し、雇用契約に明示する』こと、『支給額は、“公平に” “仕事量に応じて” 算出する』ことを確認し、実施することができました。

2 つ目は、自主料金の改定で、値上げは止むなしと確認されていたものの、その値上げ幅については、難しい決定でした。人材確保のため、訪問稼働の給与に合わせることを第 1 に考え、決定しました。「たすけあい多摩」の設立当初から取り組んでいる自主事業は、ボランティアの色彩の濃い事業ですが、他の事業からの補填を前提に運営することは、避けたいところ。事業として自立していくことが、息の長い活動につながると思います。



総合支援事業、「暮らしサポーター」へと移行が計られる中、NPO 法人として運営を続けていくことが、大変難しい時期にきていると言わざるを得ません。利潤追求組織ではないにしても、コスト・経費を度外視しては、長期的な活動は成立しません。訪問では、収益率の低い稼働でも、小さな努力を積み重ねていくことが求められています。自主では、料金・給与の改定をうけ、自主の稼働を引き受けてくださるヘルパーが増えることが期待され、新たな利用者の受け入れが可能となります。介護保険や総合支援事業からはずされてしまった高齢者の受け皿となれないか、介護保険利用者の認定外の介護との連携サービスへの展開、更に、会員の人脈を生かして周囲への PR など、新たな拡がり求めて、会員あがての努力が必要です。通所では、メンテナンス等にかかる費用の支出計画をしっかりと立てる必要があります。全体の経費も身の丈に合った支出であるかどうか、見直していききたいと思います。

見直しは、ボランティア活動についても必要でした。担い手の減少と固定化が見られたためです。3月に代表が集まり、会員への PR と参加を呼びかけていきたいと話されました。

大きな成果と言えるのは、2016 年度より課題となっていたヘルパー手帳を3月の会員集会の折に、説明・配布できたことです。緊急時の対応を中心にコンパクトにまとめられ、稼働の際の拠りどころとなることを願っています。これを初版とし、訂正を加えながら、より良いものに育てていきたいと思っています。

2018 年度は、30 周年を迎える節目の年です。NPO 法人として“地域で助け合って生きていきたい”という素朴な願いを実現していく基地でありたい、そして次の節目を目指して、会員の皆様の力の結集をお願いいたします。

## 2. 事業活動内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ①家事援助及び介護援助に関する事業

##### 自主に関する事業

・内 容	介護保険事業外の高齢者及び一般家庭への家事一般・保育等に対し、ヘルパーを派遣
・日 時	2017年4月1日～2018年3月31日
・場 所	川崎市多摩区とその近隣
・従 事 者	ヘルパー延べ人数 231名
・対 象 者	利用者 延べ人数 438名 (利用者：入会7名 退会21名 現在52名)
・稼 働 時 間	年間 1986.5時間
・事業費支出額	2,939,491円

②訪問介護及び介護予防訪問介護及び第1号訪問事業に関する事業

・内 容	訪問介護・介護予防訪問介護及び第1号訪問事業によるヘルパー派遣
・日 時	2017年4月1日～2018年3月31日
・場 所	川崎市多摩区内
・従 事 者	ヘルパー延べ人数 384名
・対 象 者	利用者 延べ人数 969名
・時 間 数	年間 8,437時間
・事業費支出額	26,085,266円

③地域密着型通所介護及び介護予防通所介護及び第1号通所事業に関する事業

・内 容	地域密着型通所介護・介護予防通所介護・第1号通所事業による食事・入浴・送迎・各レクリエーション・その他必要とする介護サービス
・日 時	2017年4月1日～2018年3月31日
・場 所	川崎市多摩区菅仙谷1-10-37 デイサービス たまちゃん
・従 事 者	7名/日 (ヘルパー・調理員・運転員・看護師)
・対 象 者	利用者 延べ人数 1,884名
・事業費支出額	18,483,368円

④障害福祉サービスに関する事業

・内 容	居宅介護によるヘルパー派遣事業
・日 時	2017年4月1日～2018年3月31日
・場 所	川崎市多摩区内
・従 事 者	ヘルパー延べ人数 129名
・対 象 者	利用者 延べ人数 61名
・時 間 数	年間 769.25時間
・事業費支出額	1,416,501円

⑤この法人が行う事業に関する相談・研修・啓発に関する活動

(内部研修報告)

実施日	内容	講師	出席者(名)
6/22	感染症及び食中毒の発生 と蔓延予防	多摩区役所 健康福祉センター 南氏、榎本氏	26
6/24		(事務所にて 音声のみ)	13
9/9	法令遵守・接遇 プライバシーの保護	富 さよ子 小倉百梅子	34
11/11	認知症と認知症ケア	折戸 裕子	24
2/10	介護技術	大谷かおり	22
合計	研修4回開催		119

(外部研修報告)

実施日	内容	講師	出席者(名)
6/22	介護技術(移乗介助)	神奈川県介護福祉会	12
9/28	糖尿病・糖尿病食について	(医)優久会 向ヶ丘久保田内科 院長 久保田章先生 管理栄養士 高田先生	8
10/10	記録の書き方	大妻女子大学名誉教授 是枝 祥子氏	4
2/23	ヨガ	松澤 康代先生	5
3/15	高血圧について	医療法人社団 家族の森 多摩ファミリークリニック 高木 暢先生	7
合計	研修5回開催		36

### 【ボランティア活動】

・内 容	特別養護老人ホーム「多摩川の里」で活動、交流 カフェ（毎月第1, 3金曜日）ボランティア参加延べ人数	101名
	刺し子とぬりえ（毎月第4火曜日他）	28名
	うたう会（毎月第3木曜日）	71名
	シーツ交換（第5火曜日）	30名
・従事者	会員及びボランティアを含む 延べ人数	200名
・対象者	特別養護老人ホーム「多摩川の里」の入所者	
・活動費支出額	15,617円	

### 【居場所 たまたまサロン】

開 催	7回
会 場	たすけあい多摩 事務所
参 加 人 数	39名（平均5名）

### ⑥独居高齢者支援に関する活動（飯室会館わくわく茶話会・ミニデイ津野田）

高齢者に外出する機会を作り、地域のふれあいの場として歓談・昼食・レクリエーションなどをして有意義な時間を共有した

### 【飯室会館わくわく茶話会】

開 催	10回（毎月第3水曜日、8月・3月休み）
会 場	飯室会館
利用者延べ人数	140名（平均14名）
ボランティア延べ人数	70名（平均7名）
活動費支出額	131,000円（川崎市よりの助成金）

### 【ミニデイ津野田】

開 催	11回（毎月第4木曜日…5月まで） （毎月第4日曜日…6月から）8月休み
会 場	びあハウス津野（5月まで）、事務所（6月から）
利用者延べ人数	84名（平均7名）
ボランティア延べ人数	60名（平均5名）
活動費支出額	10,000円

## 活動計算書

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人たすけあい多摩

科目	金額		
I 経常収益			
i、事業外収益			
1、受取会費			
入会金	35,000		
年会費	453,000	488,000	
2、受取寄附金			
受取寄附金	29,708	29,708	
3、受取助成金等			
民間助成金	0		
共同募金	300,000		
会食会助成金	131,000	431,000	
4、その他収益			
受取利息	6,673		
雑収益	9,321	15,994	
事業外収益計			964,702
ii、事業収益			
1、事業収益			
家事援助及び介護援助に関する事業収益	2,783,216		
*1訪問介護事業収益	27,195,080		
*2通所介護事業収益	17,370,023		
障害福祉サービスに関する事業収益	1,410,654		
処遇改善加算収入	4,555,795	53,314,768	
2、その他収益			
雑収益	16,000	16,000	
事業収益計			53,330,768
経常収益計			54,295,470

\*1訪問介護及び介護予防訪問介護第1号訪問事業収益

\*2地域密着型通所介護及び介護予防通所介護及び第1号通所事業収益

科目	金額	
Ⅱ 経常費用		
1、事業費		
(1)人件費		
会員人件費	22,208,779	
管理者人件費	10,824,000	
通信・交通手当	360,000	
事務人件費	744,000	
法定福利費	2,204,226	
処遇改善加算額	4,555,795	
人件費計	40,896,800	
(2)その他の経費		
会員交通費	504,770	
食材費	902,534	
燃料費	248,078	
ミニデイ津野田	10,000	
ボランティア活動費	15,617	
会食会費	131,000	
旅費交通費	7,040	
通信費	358,351	
研修費	326,294	
会議費	90,000	
リース料	204,000	
修繕費	232,812	
賃借料	2,484,000	
消耗品費	182,091	
水道光熱費	482,651	
諸会費	3,000	
印刷費	1,604	
事務用品費	28,890	
支払手数料	432,664	
広告宣伝費	64,800	
租税公課	73,400	
保険料	417,040	
減価償却費	951,807	
雑費	32,000	
その他経費計	8,184,443	
事業費計		49,081,243

科目	金額		
2、管理費			
(1)人件費			
役員報酬	1,560,000		
事務人件費	2,797,787		
法定福利費	193,943		
福利厚生費	152,202		
人件費計	4,703,932		
(2)その他の経費			
旅費交通費	79,680		
通信費	138,443		
研修費	5,000		
会議費	223,800		
リース料	121,950		
修繕費	16,480		
広告宣伝費	9,000		
賃借料	582,852		
消耗品費	69,054		
水道光熱費	125,404		
諸会費	18,000		
印刷費	9,471		
事務用品費	172,228		
支払手数料	357,589		
租税公課	1,051		
保険料	84,230		
雑費	8,850		
その他経費計	2,023,082		
管理費計		6,727,014	
経常費用計			55,808,257
当期経常増減額			△ 1,512,787
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 1,512,787
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			△ 1,582,787
前期繰越正味財産額			18,655,507
次期繰越正味財産額			17,072,720



貸借対照表

平成30年3月31日現在

法人の名称 特定非営利活動法人たすけあい多摩

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金・預金	12,605,480		
売掛金	9,033,479		
貯蔵品	6,000		
短期貸付金	16,000		
流動資産合計		21,660,959	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	260,928		
什器備品	3		
車輛運搬具	3		
有形固定資産合計	260,934		
(2)無形固定資産			
電話加入権	149,240		
無形固定資産合計	149,240		
(3)投資その他の資産			
事務所保証金	495,000		
投資その他の資産合計	495,000		
固定資産合計		905,174	
資産合計			22,566,133
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	5,125,552		
預り金	288,905		
未払法人税等	70,000		
仮受金	8,956		
流動負債合計		5,493,413	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,493,413
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		18,655,507	
当期正味財産増減額		△ 1,582,787	
正味財産合計			17,072,720
負債及び正味財産合計			22,566,133

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

法人の名称 特定非営利活動法人たすけあい多摩

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資 産 の 部		
1 流動資産		
現金		
現金	58,551	
小口現金	44,626	
通所介護小口現金	71,475	
現金計		174,652
普通預金		
川崎信用金庫 登戸支店	99,384	
横浜銀行 登戸支店	11,571,705	
八千代銀行 登戸支店	164,171	
普通預金計		11,835,260
郵便貯金	351,568	
郵便貯金計		351,568
定額貯金	244,000	
定期貯金計		244,000
売掛金		
自主事業	420,775	
*1訪問介護事業	4,582,059	
*1訪問介護事業 利用者負担金	710,374	
*2通所介護事業	2,540,435	
*2通所介護事業 利用者負担金	501,113	
障害福祉サービス事業	272,214	
障害福祉サービス事業 利用者負担金	6,509	
売掛金計		9,033,479
貯蔵品		
図書カード	6,000	
貯蔵品計		6,000
短期貸付金	16,000	16,000
流動資産合計		21,660,959
2 固定資産		
建物附属設備	260,928	
什器備品	3	
車輛運搬具	3	
電話加入権	149,240	
事務所保証金	495,000	
固定資産合計		905,174
資産合計		22,566,133

科 目	金 額		
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
2018年3月分人件費・交通費等	5,125,552		
未払金計		5,125,552	
預り金			
源泉所得税	169,170		
労働保険料	45,835		
特別徴収住民税	73,900		
預り金計		288,905	
仮受金			
自主利用料交通費預り金	8,956		
仮受金計		8,956	
未払法人税等			
法人税、住民税及び事業税平成30年3月期(確定)	70,000		
未払法人税等計		70,000	
流動負債合計			5,493,413
2 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			5,493,413
正味財産			17,072,720